

3人が一般質問

21日 みなべ町議会

みなべ町議会5月定例会の一般質問は21日にあり、3人が質問に立つ。内容は次の通

り(質問順)。
井口雅裕議員(無) 予防接種への補助

池田三千留議員(共産) みなべ町の公文書▽国民健康保険税の子どもの均等割減免を

永井幸喜議員(無) 消火栓

みなべ町

〔16日発表〕

「結婚おめでとう」

みなべ町、井出慎太郎・御坊市、山羽潤子

龍神村の金丸さんが講演

田辺県学校栄養士研究会

県学校栄養士研究会の講演会が15日、田辺市高雄1丁目の市民総合センターであり、県内から参加した栄養士56人を前に同市龍神村小家の食環境・地域経済ジャーナリスト、金丸知弘さん(29)が「海外の学校給食と健康事情」と題して話した。

東京都出身の金丸さんは、イタリアに留学して料理を学んだ。2016年に龍神村に家族で移住して食品加工・販売のカフェ「CONSERVA A(コンセルヴァ)」を経営する傍ら各地で講演をしてい



学校給食について講演する金丸知弘さん(田辺市高雄1丁目で)

る。学校給食の雑誌で連載もしており、今回は海外の学校給食の事情や県民の健康状態などについて話した。

イタリアの料理研究機関に留学した経験から、イタリアでは学校給食は前菜からデザートまでのコース料理が出ること、公立小中学校では有機栽培した地域の食材を使用すると決められていることを説明。「まさに地産地消。子どもたちに郷土料理を継続して教え、地域の農家を育てることになる」と話した。イタリアは有機栽培の自給率が欧州でトップという。

フランスでは子どもたちの味覚教育に力を入れており、

それだけでなく触覚、嗅覚など五感を鍛えていることも取り上げた。

米国の給食ではカフェテリアで提供されるファーストフードなどを自由に選べ、子どもたちが栄養バランスを考えずに食べ、肥満児が多いことにも触れた。

一方、県内では全国平均からみて糖尿病が多かったり、平均寿命では下位の状況だったりといった数字を挙げて紹介した。

最後に「日本はトップレベルのバランスの良い学校給食を提供している。皆さん自信を持ってほしい。子どもの健康にすごく役立っている」と語った。

講演後、経営する店で販売しているジャムの試食もあった。金丸さんは、食品廃棄物を減らすことや地域の農産物を使うことに取り組んでいることも語り「捨てられている農産物が学校給食で使われるようになればいいと思う」と述べた。

商工会総会開く 藤会長が再選



伊藤研治会長(田辺市龍神村龍神で)